

平成 29 年 6 月 5 日

各 位

会社名 インスペック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 菅原 雅史
 (コード番号: 6656 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理本部長 富岡 喜榮子
 TEL 0187-54-1888 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

決算集計状況を踏まえ、平成 28 年 6 月 10 日に公表しました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 29 年 4 月期 (平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,320	170	160	100	38 円 44 銭
今回発表予想 (B)	2,159	136	134	106	40 円 81 銭
増減額 (B - A)	△160	△33	△25	6	—
増減率 (%)	△6.9	△19.5	△16.2	6.3	—
(ご参考) 前期実績	1,628	△19	△41	△25	△9 円 61 銭

2. 個別業績予想数値の修正

平成 29 年 4 月期 (平成 28 年 5 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,500	130	100	38 円 44 銭
今回発表予想 (B)	1,507	171	146	56 円 24 銭
増減額 (B - A)	7	41	46	—
増減率 (%)	0.5	31.8	46.5	—
(ご参考) 前期実績	1,068	40	30	11 円 53 銭

3. 修正の理由

(連結業績予想数値について)

売上高については、半導体外観検査装置事業及びプリント基板製造装置事業とも受注が堅調に推移し、ほぼ計画通りでありました。

一方、デジタルパソロジー関連機器事業については、平成 29 年 1 月 12 日に事業譲渡が実行され、新たなスタートを切りましたが、その事業譲渡の手続きが長期化したこと及び今後実施される予定のデジタル画像での病理検査に対する保険収載を視野に入れた新製品の開発に注力したことから当初の売上計画を下回り、利益においても影響を受けることになりました。

(個別業績予想数値について)

当社が戦略的に取り組んできたロール to ロール型検査装置、ハイスペックの基板 AOI、AVI 等の利益率の高い装置等にマーケットを絞って販促してきた結果、売上高、利益とも当初予想を上回る見込みとなったことから上方修正するものであります。

(注) 本資料に記載している業績予想等に関する将来に関する記述には、発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上